

スマホ・ネット問題に取り組む

「スマートフォン等の利用に関する実態調査」（生徒指導推進室）によるスマホの県内の児童生徒の所持率は小学生31.2%、中学生46.7%と、3年前の調査から大きく増加していることが明らかになりました。スマホ・ネット問題は、今や全ての学校での取り組みが急務となっています。適切な活用に向けた、今後の取り組みの参考となる**5つの視点**をまとめてみました。

夜間使用制限の取り組み

子どもたちを守るという観点から、各家庭においてスマホ等の利用に関するルールについて話し合う機会をもつよう積極的に働きかける。

保護者啓発の充実

家庭でのルール作りやフィルタリング設定の必要性について、各家庭への周知を図るとともに、PTAと連携を図り保護者対象の研修の機会を設ける。

教職員研修の充実

児童生徒の利用の実態や問題点を把握し、ネット上のいじめやその対処法、スマホ等の適切な活用や情報モラルについての研修を実施する。

児童生徒の

主体的な取り組みの推進

児童生徒の発想を生かした主体的な取り組みが実現されるよう、学校とPTAが連携を図り、積極的に支援する。

小学校からの

適切な情報活用能力の育成

発達段階に応じて、ネットやスマホの利便性や適切な活用とともに、危険性や情報モラルについて学習する機会を設ける。

【参考】平成26年度スマートフォン等の利用に関する実態調査の結果について（岡山県教育庁義務教育課生徒指導推進室）

http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/100840_2621251_misc.pdf

スマホ・ネット問題等情報モラル研修講座

岡山県いじめ問題対策基本方針に示される問題対策の校内支援の一つとして、3年間かけて県内各地区を対象にサテライト研修講座を行います。最新の情報提供や情報モラルやネットいじめの指導についての演習や協議を通して理解を深めていきます。初年度に当たる今年度は、玉野市、備前市・瀬戸内市、津山市・鏡野町（2回）、新見市の4地区、5回の研修を予定しています。

情報モラル指導関係リンク集 ～スマホ・ネット問題に対応～

情報モラルやネットいじめに関するサイトや資料を、リンク集として取りまとめました。授業に関する参考資料や教材選び、校内研修、保護者会等に参考になればと思います。

最新の情報となるように随時更新しています。

http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/gakkoushien/jyoho_kyouiku/moral/

QRコード



（担当・情報教育部）

次回の発行は、5月22日（金）の予定です。

【バックナンバー】<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho/>